

事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

公表:令和6年 3月25日

事業所名:こども発達支援センター鹿沼市あおば園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・利用人数によって、複数の療育室で対応している。	
	② 職員の配置数は適切である	○			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、衛生面に配慮し清掃・消毒を実施している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・園外研修(保育士実地研修、療育支援事業研修会、虐待対応研修)・作業療法士による園内研修	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・乳幼児発達スケール使用。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・児童発達支援ガイドラインを踏まえた計画様式を活用している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・専門職の助言を活動プログラムに反映させている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝の打ち合わせ会議で確認している。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日、支援の振り返りを行い、共通理解を図っている。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・個別指導記録に実施内容・状況・活動の振り返りを記録し検証・改善につなげている。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・市の健診経過観察グループ活動に職員が参加している。保健師・家庭相談員等と連携して支援している。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	・該当児なし	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	②4 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	・該当児なし	
	②5 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保護者の意向に沿って、就園前に幼稚園等職員の療育見学を受け入れ情報共有を行っている。 保護者からの希望があればサポートファイルの作成を支援している。	
	②6 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・こども・家庭サポートセンターと連携し、情報の共有と相互理解を図っている。保護者からの希望があればサポートファイルの作成を支援している。	・就学相談担当者と情報共有の方法について確認し、保護者の負担軽減を図る。
	②7 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・県リハビリテーションセンター療育実地研修、療育支援事業研修会参加。	
	②8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公立保育園との交流会が実施できなかった。今後も保育園と連携し、交流会実施について検討する。
	②9 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・障がい福祉課、こども・家庭サポートセンター、健康課開催の会議への出席。	
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	③1 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			・親子療育利用者対象の研修会を実施。 ・開催時期、人数について検討する。
保護者への説明責任等	③2 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	③3 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③4 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・臨床心理士による発達相談を実施している。 ・必要に応じ、こども・家庭サポートセンターや健康課と連携し支援を行っている。	
	③5 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会との共催で研修会や行事を計画している。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事の中止や縮小して行った。感染症防止に配慮した開催について保護者会と検討する。
	③6 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③7 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・親子療育利用者に「おたより」を月1回発行。 ・「あおば園通信」を年2回発行。	
	③8 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・あおば園運営規定に基づき個人情報を適切に扱うよう努めている。	
	③9 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④0 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・感染症防止に配慮した開催について保護者会と検討する。
非常時等の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月1回、年間計画に基づき実施。	
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・利用開始前のアセスメントで情報を得るようにしている。	
	④4 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・食事の提供なし	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット報告書の内容を職員間で共有し、事故・怪我の未然防止に努めている。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・鹿沼市公立保育園・児童館のマニュアルに準拠した対応をしている。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・個別支援計画作成時に保護者と話し合い、計画に反映している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。